

令和2年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】発達に気がかりのある子どもたちの理解とかかわり		
開設日	令和2年11月14日(土)	講習時間	6時間
主な受講対象者	幼・小・中・高・特支教諭、養護教諭	受講人数	60人
講習の形態	インターネット講習		
担当講師	山口 玲子		
講習のねらい・到達目標	子どもの状態にあったかかわりを見立てることができる 「発達障害」の特性とそれを踏まえた対応の必要性について理解できる。 発達の課題と関連して顕在化しやすい児童問題と基本的な対応について理解できる。		
講習内容	教室では発達に躓きのある子どもだけではなく環境との相互作用で様々な困り感を持った子どもと出会います。個々のニーズを理解し、それぞれに合ったかかわりを逃るための基本的な考え方と手法を学びます(講義形式)。		
評価方法・基準	成績評価は、試験の成績や、講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験に関して	講習3日に免許更新室からメールにて試験問題を送付します。 解答を受験者本人が自署にて行い、提出は免許更新室に郵送してください。	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	山口 玲子	「発達と教育」発達とその遅れや偏りといった気がかりの在り様をどう理解するか。その基本的となる姿勢と支援にかかわる基本的な知識について概説する。	
II 10:45~12:15 (90分)	山口 玲子	「発達障害の理解と支援」主な発達障害の特徴を理解し、それぞれにあった支援計画の立て方について考える。事例や小ワークを通じて自分自身の取り組みも振り返る。	小ワークを行う予定
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	山口 玲子	「支援の目的と手立て」支援の実際を知る。特に受講者のニーズが高いと思われるトピックを取り上げて、支援児の理解と手立てをどのように結びつけるかについて解説する。	
IV 15:00~16:30 (90分)	山口 玲子	「児童問題との関連と対応」発達の過程において、環境との相互作用から生起する様々な困難について、基本的知識(行動上の問題、児童虐待、専門機関との連携等とその対応を学ぶ。最後に筆記試験を行う(30分程度予定)	
受講(視聴)に当たって準備しておくもの	筆記用具		
予習について	特に必要ありません		
受講上の注意	時間割の組み方はここにあげたものと異なる可能性があります(開始・終了時刻、トータルでの講義時間6時間は記載のとおりです)。 幅広い内容を取り扱うこともあり、特定の障がいや技法を深く学びたいという方や、すでに特定の分野に造詣が深くそこをさらに深めたいといった動機をお持ちの先生にはお勧めできません。それぞれの動機にあった講座を選んでいただきたいと思います。 令和元年度講習「【選択】発達に気がかりのある子どもへの理解と関わり」と講習の内容が重複します。インターネット接続がある環境で受けてください。オンデマンド型の配信なので受講する時間帯は問いません		